



いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、どうすればいいのでしょうか？

趣味や特技を活かした活動やつどいの場を充実させて、笑顔があふれる地域、お互いさまの思いやりと支えあいの仕組みを地域の皆さんと一緒に考えていきます!!

大和郡山市社会福祉協議会では、「地域の課題解決力を育む地区社協づくり」を目指して、地区社協と協働で、課題解決サイクル「地区社協 大和郡山モデル」の構築に向けて取り組んでいます。

- ①住民同士がつながりをもち、生活・福祉課題に気づく (発見する)
- ②住民参加による生活・福祉課題を共有、解決する
- ③生活・福祉課題を共有し、新たな活動を生み出す

### 【地区社協 大和郡山モデル】



## 昭和地区懇談会を開催しました

昭和地区社協では、令和4年7～8月に住民対象に、地区社協の取り組みや仕組みを検討するため、地域活動に対する意識やニーズ等についてアンケート調査を行い、その結果を踏まえて地区懇談会を開催しました。

地区懇談会では、4つのテーマに分かれてグループワークを行い、笑いがありながらも熱心な意見交換が行われました。

日時	令和4年10月2日(日)
場所	昭和地区公民館
参加者	地区社協理事・部会員など 40人

### 【地域での交流・つながり】



### 【高齢・障がいのある人の支援】



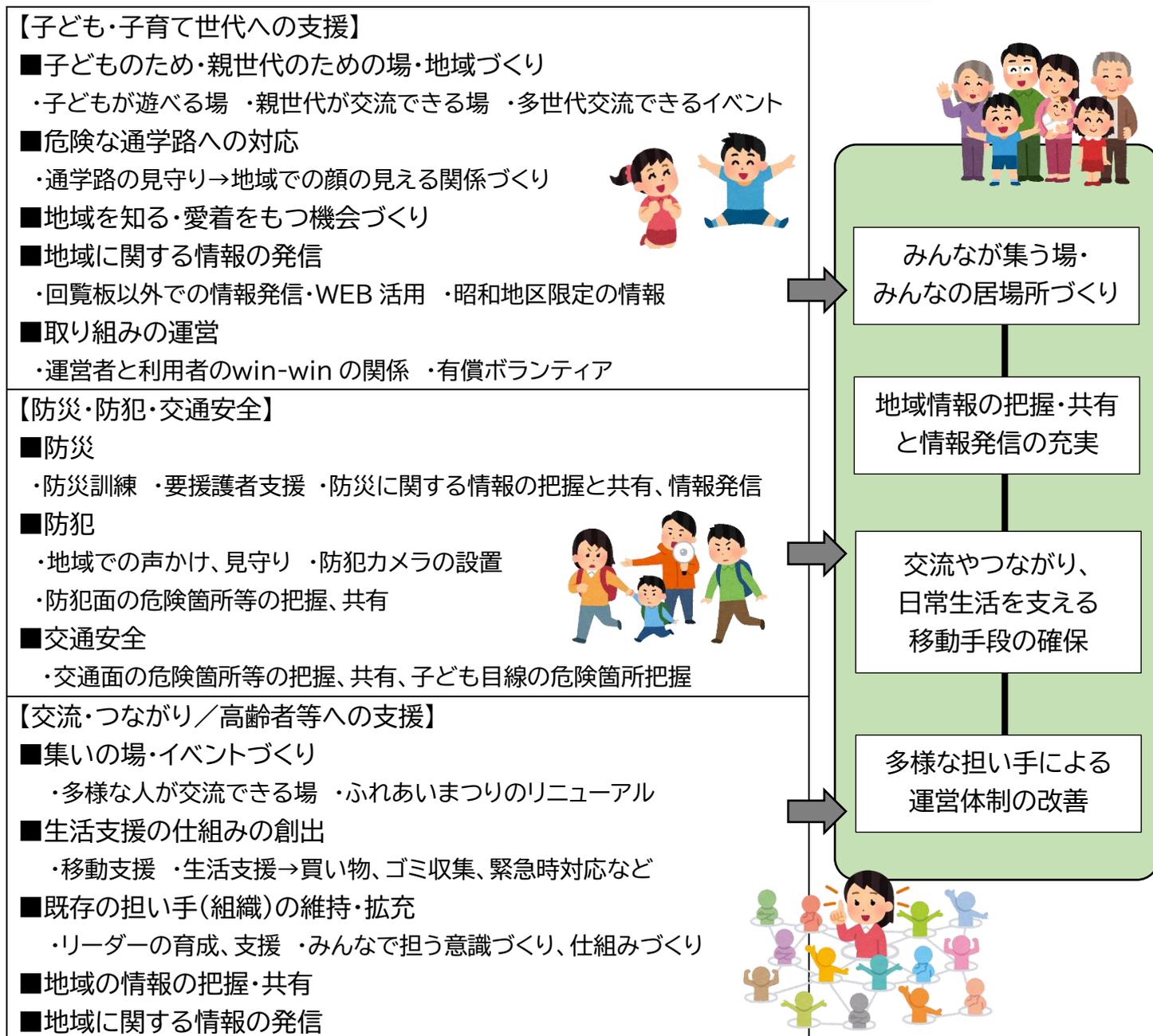
### 【子ども・子育て世代】



### 【防災・防犯、交通安全】



## テーマ毎の、みんなでできること・地区社協でできること



### ●昭和地区懇談会の結果は？

地区懇談会で話し合った結果を踏まえ、令和5年度は部会を①総務部会、②健康部会、③こども部会、④安心安全部会の4部会に分け、具体的な事業や仕組みについて協議していきます。

### 【地区社協ってなに？】

市内には8つの地区社会福祉協議会（略して地区社協）があり、地域住民をはじめ、自治会、民生・児童委員、老人会、PTAなど、各種団体やボランティアらが主体となって、住民一人ひとりの生活・福祉課題を地域の課題として受けとめ、「誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」を推進する住民組織です。住民相互の支えあい活動を広げるため、講演会や世代間交流事業を開催したり、高齢者の見守り活動や健康づくりなどに取り組んだりしています。

高齢化が進むなか、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住民同士のつながりや見守り、支えあいの仕組みが必要となります。

生活支援体制整備事業では、地域の皆様とともに身近な地域での支え合いの地域づくりを進めます。(大和郡山市委託事業)

【問合せ】大和郡山市社会福祉協議会 福祉課  
大和郡山市植槻町3-8社会福祉会館内  
電話 53-6531/FAX 55-0986